

社会福祉法人 長慶会

田植えも終わり、野山は新緑の季節となりました。私も二期四年の長慶会理事長の職を全うすることが出来ました。これもひとえに、皆様のご協力とご指導のたまものと思います。今までお世話になった皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

現在IT（情報技術）の進歩発達により世の中は、めまぐるしい速さで進化しています。しかし、私たち高齢者はその進化の速さについて行けず、便利さを享受できません。むしろ取り残された感じで情報弱者なのです。このコロナ禍の中、人々の生活はまた違うかたちで変わってしまいました。経済は停滞し、閉塞感のある暮らしは身体ばかりでなく、精神もやんでしまう恐れがあります。都市部ばかりでなく、この青森県でも感染者が増え続けています。市中感染やクラスター発生が相次ぐ中、怯えながら生活する日々がいつまで続くのでしょうか。一刻も早いコロナの収束を願うばかりです。

少子高齢化が進み、高齢者福祉の重要性は高まっています。今後益々重要な役割を担うことが予想される中、社会福祉法人としてこの大変な時代を乗り切って地域の核としての使命を全うしていかなければなりません。長慶苑は相馬地区の皆様を支えられ25年が経とうとしています。これからも利用者、ご家族を第一に、安心安全な環境をご提供することで、皆様に愛される施設であり続けてほしいと思います。

我が相馬に長慶苑あり。

社会福祉法人 長慶会

理事長 三上 鶴雄

2020年度 社会福祉法人長慶会

役員会

- 2020年5月28日 監事監査
- 6月3日 理事会
- 6月18日 評議員会
- 6月19日 理事会
- 12月8日 理事会
- 12月23日 評議員会
- 3月19日 理事会
- 3月26日 評議員会

2020年度 事業

- ・ 特別養護老人ホームナースコール入替え工事
- ・ 令和2年度青森県地域介護・福祉空間整備等施設整備事業
(多床室の新型コロナウイルス感染拡大防止のための個室化改修)

○研修実施報告

・新人研修

月日	研修項目	内 容	出席者数
4/1	高齢者の健康管理	バイタルサイン測定について（測定法、正常値、異常値）。高齢者の観察ポイント。留置カテーテルについて。緊急時の対応について（転倒、誤嚥、脳貧血時の対応）＊血圧側定（水銀）、酸素ボンベの取り扱いの実際。	5
4/1	接遇について	介護の接遇（マナー）の重要性・介護職員の接遇マナーの心得とは 介護職員の接遇マナーの4つのポイント・表情・身だしなみ・介護職員の立ち振る舞い・立ち振る舞いポイント・言葉遣い・クッション言葉とは・スタッフ教育・研修・まとめ	6
4/4	防火対策について	防火対策・火災について・地震について・土砂災害・災害支援（停電時）・不審者対策・さつまたの設置場所・合言葉・施設内の消火設備・非常口の確認・AEDについて	6
4/10	認知症について	認知症の理解。認知症の人とのコミュニケーション・認知症の症状・中核症状とケア方法・疾患の分類	8
4/13	コミュニケーション	コミュニケーション・認知症の人とのコミュニケーション・コミュニケーション・コミュニケーションの演習	8
4/13	食事介助・口腔ケアについて	食事介助について・高齢者の食事の特徴について・姿勢について 食事前に行っておくべきこと・口腔ケアの目的について	5
4/15	介護技術	姿勢・移乗・移乗介助の基本と留意点について・ボディメカニズムの8原則・基本動作の介助とポイント・トランスファーマニュアル	8
6/4	感染予防について	スタンダードプリコーションについて・手洗いの方法・マスクの装着・手袋の着脱方法・感染症について・ガウンテクニックについて・ガウンテクニック演習	3
6/12	入浴介助について	入浴・入浴の基本・浴槽への出入り・機械浴・更衣・更衣の基本・浴槽の説明	5
6/12	排泄介助について	排泄介助をする理由について・おむつの種類について・陰部洗浄の手順・拭き方・おむつ交換	5
6/12	入浴介助について	入浴前のバイタルチェック・ヒートショックを防ぐために・片麻痺がある場合の注意（脱健着患）の鉄則。浴室内・椅子等はお湯をかけ、冷たく感じないように、浴室内の温度は適温かどうか職員が確認する。シャワーに関しても同じく。洗髪・洗身洗い残しの確認等。	5
6/18	介護保険について	老人福祉制度について・介護保険施行の経緯・制度概要・改正について・要介護認定申請・介護サービスの内容・利用の仕方・現在介護保険制度の問題点	4
6/19	感染症対策① 肝炎・梅毒・レジオネラ・MRSA	肝炎・梅毒・レジオネラ症・MRSA それぞれの症状の概要・対応について	6
7/30	高齢者に多い疾患と早期発見について	高齢者に多い疾患の原因・症状・対応等について	3
7/31	身体拘束・高齢者虐待について	身体拘束とは何か。身体拘束防止の法的根拠・身体拘束がもたらす弊害。身体拘束をせず行うケアの基本原則・緊急時やむを得ない場合と判断する要件・高齢者虐待防止法市趣旨を知る・高齢者虐待の例	8

8/28	ケアプランについて	ケアプラン作成に当たって・ワイズマンの入力方法	4
9/1・8	感染症対策② ノロウイルス コロナウイルス感染症	マニュアルに沿って説明・消毒方法・手洗い手順・消毒液の準備 必要備品について	5

・中堅研修

目的：中堅職員は実務の経験が増すごとに、実質的に仕事を遂行する中核的存在で、上司、部下のパイプ役となる存在です。上司は書類仕事も増え、部下の指導に時間を割く余裕がないために実質、中堅職員に部下の指導をしていただく機会が増えます。

しかし、中堅職員の中には実務のベテランという意識から、ともすると独断専行の行動を取ってしまい、周囲への配慮に欠ける傾向が見られる方、実務経験はあるが、中身が伴わず、後輩の指導をするレベルに達していない方、指導レベルには達しているが指導するつもりがない方、何事にもやる気を失っている方、やる気はあり、これから資格を取り指導者として成長したいと感じている方などさまざまな考え、度量の幅広い層がいます。

この研修では中堅職員の役割と行動を明確に理解、認識し、行動することを目的としています。

結果：今年度は該当者がいなかったため研修は行えていない。3～5年というキャリアのある職員同士で研修を進めることで、次期リーダーへの意識付けや役割を考えてもらう機会にしているが、新規職員の雇用に結びついていない現状もあり、数名が集まっての研修が行えない状況にある。リーダー研修のように次期リーダーと目される職員に絞って毎年同じ職員で研修を進めていくことも検討する必要性を感じている。

・人材育成会議

目標：介護現場の実践リーダーとしての心構えや実践すべき具体的な行動について考え、職員を指導・支援し、職員の自主性を引き出し、介護の質の向上の推進役として、チームの活性化を図ることを目指す。

結果

4月	1. 昨年度の目標に対して結果報告とリーダーとしての今年度の目標(会議中止) →新型コロナウイルス感染症対策として会議は中止とし、昨年度の目標に対しての結果報告と今年度の目標を配布された用紙に記載し提出。
5月	1. 昨年度の目標に対して結果報告とリーダーとしての今年度の目標 →昨年度と今年度の目標を見比べて、どのようになったか、変化したかを各自発表。 ・事前にマンドラートを作成し、優先順位を決めて、各自現場に伝えていく

	<p>2. 清掃活動について</p> <p>→4月から開始予定であった村内の清掃活動はコロナウィルスの関係上実施できず、7月からの実施とする。6月職員会議にて清掃活動の概要を副主任から伝え、なぜ清掃活動を行うことになったのか、長慶苑のウリとは、社会貢献にもつながり、他部署との職員との交流にもなると結論。</p>
6月	<p>1. 地域奉仕活動（ゴミ拾い）実施に伴う職員への説明について</p> <p>→事業所のプロジェクトとして地域奉仕活動（ゴミ拾い）を行うにあたり、6/25 職員会議でプレゼンできるように説明内容についての話し合い。</p>
7月	<p>1. 地域奉仕活動（ゴミ拾い）実施報告</p> <p>→実施後の気づきや改善点の話し合い。</p> <p>2. プロジェクトの報告</p> <p>→各部署意見交換実施。助言。</p>
8月	<p>1. 地域奉仕活動（ゴミ拾い）実施報告</p> <p>→実施後の気づきや改善点の話し合い。</p> <p>2. コロナウィルス感染対策に対する必要物品について</p> <p>→必要物品について、各部署話し合っていることを報告し合い、自部署でも不足物がないか確認し情報を共有</p> <p>3. プロジェクトの報告</p> <p>→各部署意見交換実施。助言。</p>
9月	<p>1. 地域奉仕活動（ゴミ拾い）実施報告</p> <p>→実施後の気づきや改善点の話し合い。</p> <p>2. 事業所利用料等について</p> <p>→介護保険負担限度額認定証について・各部署利用料の計算方法について・各部署の加算の種類や要件について</p>
10月	<p>1. 地域奉仕活動（ゴミ拾い）実施報告(会議中止)</p> <p>→書面で状況報告。</p> <p>2. プロジェクトの報告</p> <p>→書面で報告。</p>
11月	<p>1. 来月議題について（会議中止）</p> <p>→当たり前の事が当たり前にできなくなって、注意もできなくなっているのではないかと。1か月各部署の良い点、悪い点など状況を観察し、改善するにはどうしたら良いか検討。</p>
1月	<p>1. 現場で観察したことの意見発表（BS法）</p> <p>→あたり前のことが、あたり前にできなく、そのことに対し見過ごしたり注意もできなくなってきたように感じる。そのことを踏まえ、12月から現場で気にかけて観察したことの意見発表。</p>
2月	<p>1. 気になる課題について</p> <p>→職員編と利用者編に分け、今回は職員編の改善を目指すために、① 職員の気づきの不足（消耗品の補充、電気等の消し忘れ等）について。②メール、記録、申し送りノート等の確認をしない。を課題に、全体に注意喚起のメールを送信する。</p>
3月	<p>1. 来年度のプロジェクトについて（最終）</p> <p>→4月から実施するための最終確認。</p>

	<p>2. 旧村内清掃活動について</p> <p>→・5月～10月の6か月間の毎月第2、4の水曜日に実施。</p> <p>・苑集合は7:00で清掃活動時間は7:15～7:45とする。</p>
--	---

*今年度は、ホーム・デイ・ショートのリーダー3名、昨年同様のメンバーで実施している。新型コロナウイルス感染症の流行により、日々の業務以外にも施設内外で緊張感が続く1年であった。その中でも全部署協力して地域奉仕活動を実施できたことは成果であり、地域との結びつきや他部署職員との交流も含めて来年度も継続していく。コロナ感染症予防のため、業務が増え、その他、面会、慰問、相談支援員等施設内の出入りを中止したことによる、基本的なことが疎かになっていないか、確認が必要な1年であった。今後もその時の現場の状況(課題)に合わせて、課題を抽出し、解決に向けて、リーダーとしてどう取り組んでいけばよいか検討し、介護の質向上の推進役となるよう実施していく。

・衛生委員会

目標1：職場における労働者の安全と健康を確保する

目標2：快適な職場環境の形成を促進する

結果

月	議 題
4月	コロナウイルス感染症について・今年度の予定
5月	食中毒について
6月	熱中症について
7月	職場の温度管理について
8月	ストレスチェックについて
9月	チーム内コミュニケーションについて
10月	会議中止
11月	健康診断事後の措置について
12月	労働災害について・市内のインフルエンザ感染症の状況・コロナ疑いの時の対応について
1月	冬に流行する感染症について・職員健康診断結果・市内のインフルエンザ感染症の状況・コロナ疑いの時の対応について
2月	市内及び全国インフルエンザの感染状況・職員の健康診断について・不整脈
3月	コロナウイルス感染症予防接種について・その他の市内の感染について・中高年の尿トラブル・年度振り返り・次年度計画

2020 報告

□ 特別養護老人ホーム 長慶苑

部署報告

目標1：認知症利用者様の尊厳を支え、個人調査等で得た情報から今何を求めているか、その利用者の生活暦からどのようなことが考えられるか、看取期はどうあるべきかを推測しケアを行うことで安心して過ごし、最期を迎えられる生活環境を整え、寂しくない看取り介護を目指す。

目標2：基本介護（食事・排泄）において、利用者様の希望にそったケアを生み出すための戦略や方策を立案・実践し、利用者様の意欲や満足度の向上を目指す。

目標3：職員同士が協力し、新しいことを考えだし実用化につなげることで、進む方向・目指す方向が統一され、目的達成により職員の自信とモチベーションアップを目指す。

報告：各月の話し合い、活動について

	認知症ケア看取り委員会	食事口腔委員会	排泄褥瘡委員会
4 ・ 5 月	コロナ感染症対策の為話し合いは中止している。	コロナ感染症対策の為話し合いは中止している。	コロナ感染症対策の為話し合いは中止している。
6 月	今年度の目標・活動について	今年度の目標・活動について アンケート内容について K・B氏の肺炎について 個別の食事口腔について	失禁体操について 朝食の乳製品、水分量について オムツ類、トイレ誘導見直し アンケート内容について
7 月	個人調査中止について 長谷川式について 認知症勉強会について 認知症利用者様の関りについて 看取り情報発信について	配膳や介助の優先順位について 口腔マッサージ評価 個別口腔体操について 義歯破損についての対策	失禁体操について 朝食の乳製品、水分量について 個別トイレ誘導方法について 褥瘡ハイリスク者について
8 月	長谷川式実施結果について 音読関りについて M・F氏看取り対応について 個別の対応について	配膳や介助の優先順位について 個別口腔体操について 個別の食事口腔について 自力摂取促しについて	個別尿量測定について 水分摂取状況について 体位交換、褥瘡について 排泄物品について

9月	音読関りについて 看取り情報発信について 個別の対応について	個別口腔体操評価 個別の食事口腔について 歯ブラシ等物品の対応について 食事、ホールの席について	パット等見直しについて トイレ誘導について 体位交換統一について 水分摂取量、褥瘡状況について
10月 11月	コロナ感染症対策の為話し合 いは中止している。	コロナ感染症対策の為話し合 いは中止している。	コロナ感染症対策の為話し合 いは中止している。
12月	勤務調整できず未実施。	個別口腔体操について 口腔マッサージについて 個別の食事口腔について 「口腔」に関する行事立案	勤務調整できず未実施。
1月	音読関りについて 長谷川式実施結果について 看取り情報発信について 個別の対応について 亡くなった利用者様への対応振り返り	口腔物品の保管方法 看取り期口腔ケア振り返り 個別の食事口腔について 長慶苑音楽会について	失禁体操実施状況について 水分摂取量、褥瘡状況について パット等見直しについて F・Y氏とH・Y氏の尿路感染に ついて
2月	コロナ感染症対策の為話し合 いは中止している。	コロナ感染症対策の為話し合 いは中止している。 長慶苑音楽会実施 (2/27)	コロナ感染症対策の為話し合 いは中止している。
3月	音読の関りについて 看取り情報発信について 看取りケアについて 個別の対応について	長慶苑音楽会評価 個別口腔体操について 水分提供表の改善 食事の席について	失禁体操対象者について 水分摂取状況 パット等見直しについて 夜間の体位交換について

○認知症看取り：音読関り



○食事口腔：音楽会



○排泄褥瘡：失禁体操



結果：（認知症ケア）認知症に関しては、利用者様を知ることが、その人らしさを支えるヒントであり、毎年個人調査を実施してきたが、今年は新型コロナウイルス感染対策のため外出、面会を自粛し、個人調査も感染の終息の見通しがみられず、実施を断念している。問題行動の一環として、介護拒否がみられる利用者様に対し、ケアマネから情報収集し、過去の生活歴の把握をもとに事例検討を実施したところ、向かい合うケアではなく、側面から鏡を使用しケアを行うことで、本人や介助者を認識後ケアしたところ、介護拒否が減ってき

ている。松山歯科からの助言で、触られることに慣れてもらうのは不安が解消され介護拒否が減ってくるとあった。長谷川式スケールによる認知症症状の測定を6月と12月の年2回実施している。6月測定時栄養状態が悪かったN・F様、H・K様は、12月測定時栄養状態が回復すると点数も上がっている。来年度は簡易的に記入できる個人調査票を作成し、御家族へ送付しケアにつなげていけるよう実践していく。

(看取りケア) に関しては、施設でお亡くなりになられた利用者様は12名(うちショートステイ4名、看取り加算対象者は5名)であり、うちご家族に看取られ最期を迎えたのは3名、職員が看取ったのは8名、病院でお亡くなりとなったのが1名であった。コロナ禍であったため、面会・付き添いの制限があり、本人の思いに添った看取りケアを行う事が難しい現状であったが、M・F氏は虚血性腸炎・腎機能障害・嚥下機能障害にて入院。抗菌薬治療で治癒したが、嚥下機能が低下しており経口摂取は不可能との判断で、入院中に胃瘻造設について面談し、ご家族様は胃瘻造設し延命を望みたいとの意向であったが、氏がどうしてもやりたくない拒否あり(入院前から同様の思いがあった)、ご家族様が本人の意思を尊重する形となり、看取り対応で退院となる。M・F様は「岩木山」を信仰し、岩木山神社に思い入れがあった方なので、動けるうちに氏に岩木山を見せに行くことは、できないかと職員より声が上ががり、部長より苑長・御家族へ相談し、長女付き添いのもと岩木山神社へ外出することを計画し、神社に着くと職員に笑顔でお礼を述べながら何度も神社に拜んでおり、長女もその様子を見て涙を流して喜ばれていた。お亡くなりになってから「最期に神社に連れて行ってもらえてよかった。ありがたい。何も悔いはない」と話してくれたことを聞き、連れていくことができ本当に良かったと職員皆が感じた。本人らしさを尊重した、理想の看取りケアを行えたと思う。これからも利用者様、ご家族様の思いに寄り添いながら、最期までその人らしくいられるよう、個々にあった対応をし、より質の高いケアを実践できるように、研修に参加し情報収集していく。

(食事・口腔委員会) 今年度外出行事ができなかったため、苑内での外部発注をし施設にいても外食気分を味わっていただく企画をし、食事に関しては楽しんでいただけたと思われる。コロナ感染症予防対策で音楽療法を中止していたため、行事として「長慶苑音楽会」を開催している。楽器を使用し歌を歌うことで利用者様の笑顔を引き出せている。

(排泄褥瘡予防委員会) 失禁体操を行ったが、回数が少ないせいか変化がほぼ見られなかった。新人職員が増え、体位交換統一ができず、写真を掲示したことにより改善している。褥瘡について、ベッドやクッションの見直し、体位交換統一により再発はみられることは少なかった。座位姿勢の見直しの改善効果に結びつかず、褥瘡ゼロまでには至らなかった。

(まとめ) 今年度は職員の体制や新型コロナウイルス感染症により、各委員会での話し合いや活動を自粛する月があり計画通り進めず、目標も達成できなかったためモチベーションアップへ繋げることができなかった。年度末のご家族様へのアンケートについて、面会等中止していたため、今年度は実施しなかったが、アンケート内容が決定しているため、来年度へ引き継ぎ実施することとする。来年度は今年度実施できなかった計画を引き続き行い、コロナ禍でも行えるような活動等を立案・実践するよう指導していく。

目標4:利用者様の心身の状況に応じて日常生活を営むのに必要な機能回復訓練を行い、自立促進と機能維持・低下の防止に努め、実施率80%を目標に介護度

改善を目指す。

結果：

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
63.5%	69.9%	73.9%	63.4%	70.9%	77.7%	68.4%	73.5%	58.6%	64.0%	59.0%	77.2%

年間実施率 68.3%

介護度改善 介護度 →介護度 … 0 名

年間通して専従機能訓練指導員一日平均 11.2 名実施、非常勤理学療法士一日平均 6.7 名実施、介護員(離床/歩行訓練や上下肢運動を含む)一日平均 22.8 名実施している。

一日の全体実施人数の増加あり、目標達成できず。

3 か月に 1 回以上の評価の見直しを外部のリハビリテーション専門職と連携し計画的に行い、利用者様の身体状況の急激な変化に対して臨機応変に対応することができた。継続的に行っているリハビリで身体機能の維持・低下の防止を行えている利用者様もいるが、改善や自立促進へ繋がるまでには至らなかった。

目標 5：職員（新卒・中途・派遣）への指導方法を統一し情報共有することで、職員の成長促進に努め、研修終了後のサポート体制を整える。

結果：経験の浅い職員に対しては見学・説明を経てから実際にケアを行ってもらい、苦手な所やわからない所を確認しながら指導をしている。指導担当職員間で指導した内容や指導中の様子、再度指導が必要と思われる点について口頭やメールで情報共有し、研修終了後は指導対象職員の動きで気になった点や確認が必要な点について一緒に業務に入った職員が随時指導している。技術を要するケアに関しては委員会開催時に指導方法の検討や個別指導を行っている。

目標 6：防げる入院を防ぐ。

結果：今年度の入院者は 10 件、昨年度より 2 件減少している。10 件の内訳としては誤嚥性肺炎が 2 件、誤嚥性肺炎・腎盂腎炎が 1 件、骨折で入院が 2 件、虚血性大腸炎が 1 件、尿路感染が 1 件、脳梗塞が 1 件、発熱が 1 件、てんかんが 1 件。誤嚥性肺炎に関しては新人職員も増えたため、食事姿勢の見直しと自歯のある利用者様への口腔ケアを再度指導していく必要がある。骨折に関しては高齢と骨粗鬆症の重度化があり、少しの負荷で骨折につながるリスクがある事をホーム会議で事例検討しケアを統一している。

コロナウイルス感染症対策のため、星側の多床室を個室化にする工事を行い感染予防を徹底していく。

目標 8:介護技術の向上と介助困難者のケア統一と福祉用具や介護ロボの導入を検討する。

結果：背部に褥瘡のある利用者様に対し、スライディングシートの使用を徹底することで褥瘡の完治につなげる事ができている。しかし徹底するまでに時間を要したため、使用状況に関してこまめにチェックしていく必要がある。K・T様の 2 人介助でのトイレ誘導に関して、下

肢緊張が強く足底の感覚が無く立位保持が難しい状態であり、ズボンを下げながら足を移動するのが難しいため、一度トイレに座ってもらってからズボンを下げる介助をすることで、スムーズに介助できている。

介護ロボの導入に関してはコロナウイルス感染症対策のため、業者の出入りを制限したため出張デモを行うことができなかった。今後も最近介護ロボの導入を検討し、最近情報をとり絵入れていく。

事故報告・ヒヤリハット

月	件数 (前年度)	内容	ヒヤリハット
4月	1件 (6件)	擦過傷 1件	2件
5月	3件 (7件)	誤飲・異食 2件、皮むけ 1件	4件
6月	5件 (5件)	爪 2件、誤飲・異食 1件、骨折 1件、内出血 1件	4件
7月	5件 (4件)	転倒・転落 3件、骨折 1件、徘徊 1回	2件
8月	1件 (5件)	内出血 1件	0件
9月	3件 (10件)	転倒・転落 1件、爪 1件、表皮剥離 1件	0件
10月	1件 (2件)	転倒・転落 1件	0件
11月	2件 (4件)	転倒・転落 2件	4件
12月	9件 (8件)	転倒・転落 7件、爪 1件、配膳者との接触 1件	4件
1月	4件 (7件)	転倒・転落 3件、表皮剥離 1件、爪 1件	2件
2月	3件 (1件)	転倒・転落 2件、表皮剥離 1件	2件
3月	1件 (5件)	爪 1件	0件

今年度の事故件数は 38 件であり、昨年より 25 件減少している。ヒヤリハットは 24 件で、昨年と同じであった。発生事故の原因として多かったのは転倒・転落で 19 件であった。事故が多かった月としては 12 月が最も多くみられた。同じ利用者様へ 5 回爪切りによる事故が発生しているため、爪切り前の注意喚起を行っていく。

目標 9：介護相談員を活用し利用者様の不安の減少、職員の質の向上を目指す。

結果：弘前市より、令和 2 年 3 月 1 日より活動の自粛の連絡があり、相談支援員の来苑はなく実施できなかった。来年度の再開の時期を検討中と連絡あり、新型コロナワクチンの接種が増えることで、活動再開につながっていくことを期待したい。

○年間行事

目標：利用者様が季節を認識でき、利用者の状態にあった行事を起案する

結果：

月	行事	参加人数 (ショートも含む)
4月	開苑記念日	29名
5月	母の日	27名
6月	父の日	21名
7月	七夕 夏まつり (コロナウイルス感染予防のため中止)	35名
8月	縁日	33名
9月	敬老会 十五夜	33名 28名
10月	収穫祭 レク大会	30名 35名
11月	ふれあいの集い	34名
12月	クリスマス会 忘年会	33名 33名
1月	新年会	34名
2月	節分	24名
3月	ひなまつり	32名



〈縁日〉



〈十五夜〉



〈新年会〉

今年度は30名以上の利用者様が参加できている事が10回あった。コロナウイルス感染予防のため外出を伴う行事は行えなかったが、You Tube を利用しながら、外出しなくても満足していただけるような行事を企画することができた。

H・M氏100歳誕生日会は感染予防を徹底し、姪と最小限の人数で行い、市長より賞状をいただくことができています。その後、ホームのホールにて、利用者様と職員と盛大にお祝いしている。

○外出

目標：外食の楽しみや、景色を見ながら季節感を味わう行事を起案する。

結果：コロナウイルス感染予防のため外出行事行えていない。

月	外出先	参加人数
4月	花見（コロナウイルス感染予防のため中止）	
5月	相馬小学校運動会（コロナウイルス感染予防のため中止）	
6月	居酒屋→父の日食事会	26名
7月	ドライブ（コロナウイルス感染予防のため中止）	
8月	ねふたまつり（樹木ねふた愛好会様にお囃子の演奏よる）	33名
9月	買い物（樋ノ口）（コロナウイルス感染予防のため中止）	
10月	紅葉ドライブ→収穫祭	30名
11月	相馬小学校学習発表会（コロナウイルス感染予防のため中止）	
12月	なし	
1月	和菓子バイキング	24名
2月	バレンタインデー	21名
3月	ホワイトデーケーキバイキング	29名



〈樹木ねふた愛好会様慰問〉



〈収穫祭〉



〈和菓子バイキング〉

○レクリエーション・クラブ

目標1:利用者様が楽しめるレクリエーションを行う事で体を動かす機会を増やす。

目標2：個々にあったクラブ内容を検討し作品完成させる。

目標3：植物と触れ合う時間を作る。

結果：レクリエーションの実施回数 34 回、月平均で 2.8 回であった。12 月体制整わず未実施であったが、You Tube を活用し動画鑑賞行っている。

畑にはきゅうり・ミニトマト・さつま芋・ジャガイモ・枝豆を植えており、観察・収穫・調理は7月～10月に行っている。枝豆は収穫作業も張り切って行っており、茹でて食べている。じゃがいもは職員が収穫し、利用者様がじゃがバターで食べている。「おいしい」と好評であった。さつま芋はスイートポテトを作っている。利用者様と一緒に作り好評であった。

月	実施内容	実施回数	参加人数
4月	4/5 缶取り (16人) 4/12 ボール渡し (17人) 4/26 玉入れ (16人)	3回	49人
5月	5/3 桜見学 (15人) 5/17 風船バレー (17人) 5/24 スカットボール (19名)	3回	51人
6月	6/1 カラオケ (11人) 6/7 なぞなぞ (14人) 6/14 お手玉カーリング (19人) 6/20 折り紙 (8名) 6/21 カラオケ (5人) 6/28 七夕飾り作り (10人)	6回	67人
7月	7/5 学習療法 (9人) 7/12 音読 (8人) 7/14 新聞読み聞かせ (10人) 7/19 金魚ねぷた作り (3人) 7/22 金魚ねぷた作り (7人) 7/26 枝豆収穫 (10人)	6回	47人
8月	8/2 苑外散歩 (6人) 8/13 スカットボール (21人) 8/16 塗り絵 (8人)	3回	35人
9月	9/20 ボーリング (31人) 9/21 じゃがいも収穫 (10人)	2回	41人
10月	10/4 なぞなぞ (13人) 10/5 料理作り (13人) 10/25 新聞読み聞かせ (11人)	3回	37人
11月	11/1 紅白ボール上げ (13人)	1回	13人
12月	未実施	0回	0人
1月	1/1 書き初め (8人) 1/3 リズム体操 (23人) 1/24 黒ひげ (13人)	3回	44人
2月	2/27 音楽療法 (32人)	1回	32人
3月	3/21 なぞなぞ (8人) 3/28 ボーリング (13人) 3/28 花の飾り作り (7人)	3回	28人



〈 苑内外出桜見学 〉



〈 書き初め 〉



〈料理作りスイートポテト〉

○音楽療法

目的：利用者様が楽しめる時間を作り様々な反応を引き出していく。

各月ごとに歌う歌を決めて、昼の集いにて音楽をかけて利用者と一緒に歌を歌う。

結果：今回新型コロナウイルスの為、ほぼ中止としている。実施出来た月が6～9月までであった。実施時に利用者様の反応を引き出せるよう職員も一緒に盛り上げることを行い、盛り上がるよう実施している。10月から再度中止後は食事口腔委員会にて2月長慶苑音楽会を実施している。普段の音楽療法に近い+長慶苑らしさを組み込み楽しまれていたと思う。実施回数として昨年度は平均約20名参加であったが、今年度は平均約26.5名であった。

月	実施内容	季節の歌	参加人数
4月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		
5月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		
6月	①長慶苑からこんにちは ②雨降りお月様 ③瀬戸の花嫁 ④雨ふり ⑤てるてる坊主 ⑥七夕さま ⑦七つの子	雨降り てるてる坊主	26名
7月	①長慶苑からこんにちは ②うみ ③海 ④我は海の子 ⑤ 憧れのハワイ航路 ⑥かもめの水兵さん	カモメの水兵 さん 海	25名
8月	①長慶苑からこんにちは ②夏の思い出 ③花笠音頭 ④み かんの見える丘 ⑤炭坑節 ⑥津軽甚句 ⑦七つの子	うみ 花火	29名
9月	①長慶苑からこんにちは ②月 ③十五夜 ④うさぎ ⑤り んごの唄 ⑥七つの子	十五夜 月	26名
10月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		0名
11月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		0名
12月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		0名
1月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		0名
2月	食事口腔委員会行事にて長慶苑音楽会実施している。		0名
3月	新型コロナウイルスの為、実施していない。		0名



〈音楽療法実施状況〉

○口腔ケア

目標1：口腔内の清潔を保つことで口腔トラブルを防ぎ肺炎を予防する。

結果：今年度、誤嚥性肺炎で入院した利用者は3名となっている。今年度も松山歯科来苑し、口腔ケアに係る技術的助言と指導をしていただいている。新人職員が定着し、口腔ケア、物品に関しても利用者に合わせて行うことができたと思う。口腔内の清潔が維持できていない時には申し送りノートへ記載し、迅速に対応できるようにしている。また、看取り期の早い段階での口腔物品の変更や、口腔ケアの徹底等ができていたと思う。今後も清潔の維持、知識の充実を計り、ケアしていく。

○体験事業、実習受入

	月日	時間	学校	人数	内容
福祉体験学習	5月	14:00 ～ 16:00	弘前 学院大 学	0名	新型コロナ対策感染防止のため、自粛。
	8/10～14	9:00 ～ 16:00	東北女 子大学	3名	「小学校及び中学校教諭の普通免許状授与に係る介護等体験」のため来苑。オリエンテーション、施設見学、施設の概要、特色、利用者様と接する際の注意事項、車いす操作について説明。新型コロナ感染防止のため、利用者様とは接触せず、施設内の清掃や、レク用品、創作用品、行事等で使用する利用者様が喜ぶ作品作り（ブーケフラワープレゼント）を依頼し、行っている。
	8/17～ 8/21		弘前 大学 教育学部	4名	
	8/24～ 8/28			3名	
	9/10		9:00 ～ 11:00	相馬 小学校	

新型コロナ感染防止のため、基本的に実習等の受け入れは自粛していたが、利用者様と関わらないという条件のもとで、弘前大学教育学部と東北女子大の介護体験は10名実施した。

相馬小学校の体験では、初めて出前講座として実施している。

○利用者状況（特養ホーム）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
入所者数	30	31	31	30	31	30	30	31	31	30	30	31	366	30.50	
延べ入所者数	870	902	872	914	913	878	930	888	892	893	817	910	10679	889.92	
入院者	1	1	3	2	1	1	0	0	2	1	1	2	15	1.25	
入院空床 延べ人数	30	28	28	16	17	22	0	12	38	37	20	20	271	22.58	
登録廃止者	1	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	1	9	0.75	
うち死亡者	0	1	1	0	1	0	0	1	2	1	0	1	8	0.67	
月平均	29.0	29.1	29.0	29.4	29.4	29.2	30.0	29.6	28.7	28.8	29.1	29.3	351	29.26	
介護度別 実人数	経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度3	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	27	2.25
	介護度4	9	9	10	10	11	11	11	12	11	11	12	12	129	10.75
	介護度5	19	20	19	18	18	17	17	17	18	16	15	16	210	17.50
	介護度平均	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.5	4.4	4.5	4.2	4.4	4.4	53.86	4.49
介護度別 延べ人数	経過的要介護	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度3	60	62	60	62	62	60	62	60	62	81	84	93	808	67.33
	介護度4	270	279	283	310	329	330	341	318	327	336	334	355	3812	317.67
	介護度5	540	561	529	542	522	488	527	510	503	476	399	462	6059	504.92
	月合計	870	902	872	914	913	878	930	888	892	893	817	910	10679	889.92
稼働率 (%)	96.7	97.0	96.9	98.3	98.2	97.6	100	98.7	95.9	96.0	97.3	97.8	1170	97.52	

・ホームは去年に比べると述べ入院者数 19→15 (-4 人)。空床延べ数 493→271 (-222) であり、月平均利用者様数 28.65→29.26 (+0.61 人)、介護度平均 4.51→4.49 (-0.02) であった。去年に比べ、誤嚥性肺炎や急変による入院は減っている。利用者様も高齢であり施設での看取りを希望する家族が増えており、今年度の契約解除者 9 名うち施設で看取りを行ったのは 8 名（ショートステイ利用者除く）で、平均年齢 85.4 歳ということもあり、施設で最期を迎える利用者様は多かった。

1. 市町村別入所者調べ

項目	入苑者数			退苑者数			R3. 3. 31現在苑者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
市町村									
青森市	0	0	0	0	1	0	0	0	0
弘前市	4	5	9	4	5	9	8	21	29
黒石市	0	0	0	0	0	0	0	1	1
藤崎町	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	2	4	6	2	4	6	8	22	30

2. 介護度別利用状況

介護度	男	女	計
要介護3	1	2	3
要介護4	3	10	13
要介護5	4	10	14
計	8	22	30
平均介護度	4.37	4.36	4.366

3. 年齢調べ

年齢	男	女	合計
65歳未満	1	0	1
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	3	3
75歳～79歳	0	3	3
80歳～84歳	4	1	5
85歳～89歳	1	4	5
90歳～94歳	2	8	10
95歳～99歳	0	3	3
100歳以上	0	0	0
合計	8	22	30
平均年齢	82.8歳	86.4歳	85.4歳
最高年齢	94歳	97歳	
最低年齢	63歳	70歳	

4. 在苑期間状況

在苑期間	男	女	合計
1年未満	3	5	8
1～3年未満	2	7	9
3～5年未満	2	5	7
5～10年未満	1	4	5
10～15年未満	0	1	1
15年以上	0	0	0

合計	8	22	30
----	---	----	----

□ショートステイ

目標1：新規利用者の獲得とリピーターを増やし、空床を作らない

結果：ショートステイの5床のベッドに関しては、ショート利用の利用者様も高齢であり、施設での看取りを希望される利用者様が多かった。特養の利用者様が数名お亡くなりとなり、空きベッドによる空床ができるため、単発のショートステイでほとんど埋めることができず、空床が前年度より多くなっている。そういう状況の中で、今まで在宅でデイサービスをご利用者してくださっている利用者様の急な体調不良時に迅速にショートステイの利用につなげることができたのは、非常に良かったと感じる。

○利用者状況（ショートステイ）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
利用者数	5	6	5	5	5	5	8	6	9	7	6	5	72	6.00	
延べ利用者数	150	143	126	136	138	150	155	143	159	146	123	155	1724	143.6	
月平均	5.00	4.61	4.20	4.53	4.45	5.00	5.00	4.77	5.13	4.71	4.39	5.00	56.7	4.73	
介護度別 実人数	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	13	1.08
	介護度3	1	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	0	13	1.08
	介護度4	1	2	2	2	1	1	4	1	1	2	4	3	24	2.00
	介護度5	2	2	1	1	2	2	2	3	5	1	1	2	22	1.83
	介護度平均	3.8	3.6	3.4	3.5	3.6	3.8	3.8	3.8	3.6	3.4	3.4	3.8	43.8	3.65
介護度別延べ人数	要支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00	
	介護度2	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	30.42
	介護度3	30	31	30	31	31	30	31	30	43	15	0	31	354	19.50
	介護度4	30	36	36	43	31	30	31	21	23	50	80	93	504	42.0
	介護度5	60	45	30	31	45	60	62	62	53	22	0	31	501	41.75
	月合計	150	143	126	136	138	150	155	143	159	146	123	155	1724	143.6
稼働率 (%)	100	92.3	84.0	87.7	89.0	100	100	95.3	102	94.2	87.9	100	1133	94.42	

□医務

部署報告

目標 1:夜勤に従事するすべての介護職員等が喀痰吸引等を実施できるための体制を整え、実地研修が順調に終了できるように計画し、実施する。

結果：今年度実地研修を行った職員は3名であった。利用者様に負担がないように、余裕をもって実施研修を行い、技術や内容は特に問題なく終了している。看護職員、介護職員共に勤務調整に協力してもらい、期限内に終了できている。

今年度、指導看護師を1名から2名体制とすることができなかつたため、今後の課題となっている。

目標 2：利用者様及び御家族様の尊厳を支える看取りに努める。

結果：看取りの時期に関しては、徐々に食事が減少し状態低下がみられた時点、意識消失等の症状が出た時点で、ご家族様へ連絡し面会依頼している。改めて看取り確認書を元に、このまま施設で自然に任せて看取り対応するか、胃瘻の造設を考えているか、受診し積極的な治療等を考えているか確認し、その場で決定できない時は、ご家族で話し合っただき、ご家族様もどのような選択をしても後悔しないように、何度も説明し対応している。看取り介護を希望した際は、主治医からの状態説明を受け、ご家族様の希望を確認し、利用者様が最後までその人らしく迎えられるように、環境を整え安楽に過ごしていただけるよう配慮し、身体的苦痛の緩和に努めた。また面会時には、状態の急な低下を感じないように、必要に応じて電話にて状態説明と不安が解消できる声掛けをし、ご家族様の精神的な面のサポートも行うよう努めた。コロナ禍のため、希望通りの面会に応じることができず公開が残る。看取り終了後は、各担当が看取り評価シートに記入し、振り返りを行っている。

目標 3：排泄委員会・入浴委員会に参加し、排泄の調整・褥瘡予防・皮膚疾患の改善などに向けて、多職種との協力・情報交換を行いながら、利用者様の苦痛を軽減し、できるだけ快適な生活を送って頂けるように援助する。

結果：主に排泄委員会に参加(参加できないときは書面で処置状況と排便コントロールを報告)し、利用者様の状態や変化を確認し、ケアや処置を見直し、快適な生活を送っていただけるよう援助した。

目標 4：感染症の予防に努める。

結果：

6/12	感染予防について	(新人6名)
6/18	感染対策	(全職員)
9/1、9/8	ノロウイルス、新型コロナ感染症	(全職員)
12/23	感染対策、衛生管理の学習	(全職員)

・インフルエンザ対策として、11/6 ホーム 35 名、りんご座 8 名、長慶の里 20 名、11/20 職員

57名、合わせて120名インフルエンザワクチンの接種をしている。利用者様に感染はなかった。

- ・嘔吐、下痢などノロウイルス感染症と思われる流行はなかった。
- ・今年度は、新型コロナウイルスの流行より、面会制限および消毒作業を徹底して行った。職員は全員マスク着用で対応し、外出を自粛し感染防止に努めた。

目標5：医務会議を毎月実施し、ケアの統一を図る。

結果：全員出勤での医務会議を毎月実施する予定でしたが、6月、8月は業務調整できず、4月、5月、10月、11月、2月は新型コロナウイルス感染予防対策のため、会議が開けなかったの
で会議録を回覧し情報を共有している。ホーム、長慶の里の利用者様の情報は医務会議の時
だけでなく変化があった時は、その都度情報交換を行った。

目標6：外部研修に参加し最新の情報を得て知識を深め業務に役立てる。

結果：外部研修は参加しなかった。

月	受診数		入院数		救急搬送数	死亡		健康診断
	ホーム	ショート	新規	継続		病院	施設	
4	7	1	0	1		0	0	0
5	5	1	1	0	1 弘前病院	0	0	0
6	5	0	2	1		0	1	0
7	8	1	1	0		0	0	0
8	3	0	0	1		0	1	0
9	3	1	1	0		0	0	6
10	4	0	0	0		0	0	0
11	5	0	0	0	1 健生病院 ER	1	1	0
12	3	0	2	0	2 健生病院 ER	0	2	0
1	4	2	0	1		0	2	0
2	3	1	1	0	1 弘前脳卒中センター	0	1	0
3	7	1	1	1	1 弘前脳卒中センター	0	1	0
計	57	7	9	6	6	1	9	6

□給食

部署報告

目標1：食を通して利用者の快適な生活のサポートを目指す

結果：調理方法や切り方を工夫し、軟らかい食材を積極的に取り入れることで食べやすさに配慮した食事提供を行い、味や見た目に遜色がない冷凍品や既製品を取り入れ味が良く調理時間の短縮にも繋がる献立作成を行った。それとともに利用者の食事状況や残食量、職員からの情報を踏まえて利用者に適した食事提供を速やかに対応することができた。

味見や調理の工夫、献立のとらえ方を調理師同士で確認することで安定した味に繋がった。指示書に書かれたポイントを事前に口頭でも伝える事でとらえ方の相違に気づき、調理時に注意して行うことができた。

食札のコメントを読みやすく見やすい端的なものになるよう見直したことで作業効率を上げ、ケアレスミスの防止ができた。

『ホーム食事状況』

常食	7名(一口大2名)
刻み食	2名
軟菜食	13名(一口大4名・塩分6g一口大1名・粗刻み1名・刻み5名)
ゼリー食	2名
高カロリーゼリー	2名
パン食	1名
経管栄養	8名
合計	35名

『長慶の里食事状況』

常食	7名(一口大2名)
軟菜食	10名(一口大3名・塩分6g1名・塩分6g刻み1名・刻み1名)
ミキサー食	2名
合計	19名

2021. 3. 31 現在

目標2：厨房の衛生管理の徹底

結果：作業前に実施している粘着ローラー掛けのマニュアルを作り直し強化したことで、お互い

に衛生面を指摘するようになり一人一人の衛生意識が高まり異物混入のリスクを減らすことに繋がった。

老朽化が進んでいる貯米庫や食器の購入、食札を新しくすることで衛生的な状態にできた。今までよりもやりやすく清潔な状態を維持できるようにグリストラップの清掃方法を改善した（専用掃除道具の活用 月2回専用洗剤の散布）。月2回の特別掃除と2020年7月に業者による側溝の補修を行ったことで害虫の発生数を押さえることができた。

目標3：嗜好調査を実施する。

結果：個人の食事に対する意見を聞くことで日々の食に対する考えが伺え、よく食べているものや好まれる味を献立作成に生かすことができた。

目標4：月1回の給食会議を行う。

結果：おかずとろみ付きの利用者のとろみが緩くなってしまいう時があったためとろみの役割を調理師に再指導し、とろみをかける時は煮汁少なめにしてとろみの役割が最大限に生かせるようにした。また、既製品の惣菜（ひじきの炒め煮・切り干し大根の煮物・牛蒡サラダ・豆サラダ）を使用する時はそのままだと味が濃すぎるため野菜などの食材を追加して丁度良い味付けに調節し、冷凍里芋の硬さが目立つため別の冷凍里芋を使用して硬さが目立ちにくいものに変更した。このように意見や要望をもとに提供方法や調理方法を改善することでよりより食事提供を行うことができた。

配食サービス

目標1：利用者に継続して食べてもらえるように努める。

結果：ミキサー食、塩分制限食の提供、配食弁当箱の利用が難しい方へのディスプレイ弁当箱の活用など様々なニーズの利用者に対応したことで継続に繋がった。

行事食を組み込むことで食に楽しみを持たせて継続してもらえるようにした。

提供した行事食（母の日・父の日・七夕・土用の丑の日・お盆献立・ハロウィン・クリスマス・正月料理・節分・バレンタインデー・ひなまつり・ホワイトデー・春分の日）

行事食

目標1：行事食を通して特別感を感じてもらえるものにする。

結果：食器や盛り付けをいつも以上に華やかにしたり、一度にいろいろな味を楽しめたりすることでイベント感を表現して特別な食事だと感じてもらうことができた。

誕生日膳に添えているバースディカードを新しいものにして、祝い鶴を祝い花に変え特別な

食事を演出した。

	すべての部署	ホーム	長慶の里	デイサービス	りんご座
4月	開苑記念献立 花見弁当			鮭いくら丼 (北海道)	
5月	母の日献立		開苑記念献立	粕汁(大阪府)	
6月	父の日献立			運動会弁当 とろろめし (静岡県) そばバイキング	
7月		七夕そうめん 土用丑献立	七夕そうめん 土用丑献立	流しそうめん BBQ ひつまぶし (愛知県)	開苑記念献立 七夕そうめん 土用丑献立
8月	お盆膳	ねふた祭り膳 (夕食) 縁日(夕食)	ねふた祭り膳 (夕食)	のっぺい汁 (新潟県)	
9月	敬老会膳			ひつつみ鍋 (岩手県)	
10月	十五夜献立 ハロウィン	レク大会弁当		BBQ けんちん汁 (神奈川県)	
11月	寿司の日献立	ふれあいの集い 献立		きりたんぼ (秋田県) (3日間実施)	
12月	年越しそば	忘年会献立 (夕食) クリスマスメニュー	忘年会献立 (昼食) クリスマスメニュー	ほうとう鍋 (山梨県) (3日間実施)	クリスマスメニュー
1月	正月祝い膳	七草粥(朝食) 新年会献立	七草粥(朝食) 新年会献立	三平汁 (北海道) 新年会献立	
2月	節分献立 バレンタインデー献立			だご汁(福岡県)	
3月	ひなまつり献立 ホワイトデー献立	春分の日献立	春分の日献立	深川飯 (東京都)	春分の日献立

※毎月1回デイサービスに郷土料理献立を提供。11月と12月はコロナウイルス感染予防のため

3日間連続で実施。

※毎月1回デイサービスの誕生会には2つの献立から選択できる誕生者用お祝い膳を提供。

※ホームと長慶の里の利用者様には誕生日当日に誕生日膳を提供。

おやつ

目標1：おいしくて見た目のよいおやつを目指す。

結果：季節に合ったおやつの提供を心掛け、行事の時は行事を連想できるハートや花、星などを食べ物であしらい楽しんでもらえるおやつの提供を行った。

デイの持ち帰りおやつにはあとで食べることを考えて状態が変化しにくいおやつを準備するようにした。

【祝日・行事食おやつ】

4月	花見：桜饅頭・桜ショコラクッキー(既製品) 郷土：ようかんパン(北海道)
5月	母の日：ハートロールケーキ 郷土：プリンパフェ(大阪府)
6月	郷土：抹茶お菓子盛合せ(既製品)(静岡県)
7月	七夕：七夕水ようかん 郷土：駄菓子盛合せ(既製品)(愛知県)
8月	郷土：米粉生どら焼き(新潟県)
9月	かもめの玉子(既製品)(岩手県) 敬老会：アチズケーキといちごアチズケーキ(既製品)
10月	十五夜：ホームとデイサービスは十五夜スイーツがイッテ。長慶の里はお月様水ようかん 郷土：月餅(神奈川県・既製品) ハロウィン：パンプキンモンブランケーキ
12月	クリスマス：クリスマスリースケーキ
1月	元旦：お祝い和菓子(既製品) 新年会：やわらか餅のおしるこ 郷土：ホワイトチョコプリン(北海道)
2月	節分：鬼さんプリン 郷土：チロルチョコと明太子煎餅(既製品)(福岡県)
3月	ひなまつり：ももパフェ 郷土：人形焼(東京都・既製品) ホワイトデー：スコップケーキバイキング



【母の日 三食井】



【ホーム ふれあいの集い】



□長慶苑デイサービスセンター

部署報告

目標1：認知症という病気の症状や状態は対応が難しく、ご家族からしてみても介護することも容易ではなく、対応が難しい部分がある。デイサービスでも、対応はしているが本当に適切なケアのかと考える場合がある。認知症利用者が1日でも長く、在宅生活を続けられる様、援助を提供する職員が認知症に対する理解を深め、適切なケアの実践と統一したケアの提供が出来るように、活動を通じて質の向上を目指す。

結果1：中重度の認知症利用者2名の抽出を行い始めたが、入所になっていくパターンが多くきちんとした個別調査を行う事が出来なかった。ご本人の生活歴や趣味、習慣、仕事、好きな事、物の聞き取りを行っている。普段あまり口を開かない方でも昔の趣味を通じて会話することで会話に広がりが見られ笑顔も見られている。昔は行っていた、興味があったことなどに対し「もうわからねじや」という意見も多く聞かれていた。認知症に対する勉強会では中核症状、基礎知識、トラブル対応について行う。弘前市内でのコロナウィルス感染症発生の影響により当初予定していた勉強会を行う事が出来なかった、優先すべき勉強会が出たことなどがあった。

目標2：新規利用者を25名獲得し定期利用継続につなげることで月平均利用者数を18名にする。

結果1：新規利用者25名で目標達成できた。胃ろう造設の方1名、人口肛門造設の方2名の受け入れもできたが、全体的な目標数から評価すると入院され中止される方、退院後ショートステイ利用や入所となった方もおり、また今だ終息できていないコロナ感染予防対策のため利用をお休みされる方、自宅療養等、数回利用され利用継続に至らなかったなど利用中止者が多く月平均利用者数は16.4名で目標を下回り、全体的目標達成結果としては、不足であった。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	月平均
新規利用	3	2	1	3	2	2	4	0	0	1	4	3	25	2.08
おためし利用	2	2	1	3	1	4	2	2	2	1	3	3	26	0.4
利用中止	0	4	1	2	0	1	1	4	2	4	2	2	27	2.25
登録者数	3	2	0	2	2	2	5	1	0	2	1	2	11	0.9
延べ利	387	402	440	452	425	450	450	418	445	420	400	447	5136	428

用者数														
一日平均 利用者数	14.9	15.5	16.9	16.7	16.3	17.3	16.7	16.7	16.5	16.8	16.7	16.6	197.6	16.467

結果2：コロナウイルス感染予防対策により老人クラブ総会開催等はなく、また他事業所様への訪問も自粛する必要があるとあり、小まめに問い合わせる事はできなかったが、感染予防状況を考慮して他事業所へ作成したチラシとデイ予定表、お試し無料券を持参し配布している。超音波風呂、お試し無料体験利用できることをアピールしている。他事業所からの紹介は5件、利用に至ったのが4名。定期的な訪問はできなかったが、以前からのお付き合いにより他事業所からのご紹介があり新規利用に繋がった利用者様もいた。

目標3：職員の資質の向上

結果：施設内研修ではリーダーが人材育成に参加している。新人研修、2名参加、中堅研修は該当者がいないので参加者なし。コロナウイルス感染予防対策のため施設外研修への参加はなし。参加研修の報告はメール、申し送り簿ノート等を活用し報告、伝達を行い職員全員で共有できるようにしている。また再確認も含め、夕送迎後も集まりその日の申し送り事項、連絡事項を皆で伝達しあい再確認し伝達もれなどないようにしている。毎月デイ会議を行い全職員が統一したサービスを提供できるよう利用状況報告・再確認、業務マニュアルの再確認・整備を行い都度配布している。今期、処置に関するマニュアル整備・統一した対応が周知徹底できるよう、ナース会議を開催し、処置一覧の見直し、利用者様の情報共有を行っている。また苦情報告、ヒヤリハット、事故報告を行い再検討し再発防止に努めている。苦情報告3件、ヒヤリハット4件、事故報告10件。今後も資質向上のため再発防止に努めてく。

○年間行事

目標：季節を意識しご利用者様の状態にあった楽しめる行事を企画提供。

結果：新型コロナウイルス感染症の影響により年間行事（外出、苑内行事）に沿った行事を行う事が出来なかった。年間を通し外出行事がほとんど出来なかったこと、新型コロナウイルス感染拡大により一日を通した行事の中止、外部慰問者の中止など、例年比べ行事数が減っている。行事中止になった為、代替りの行事（おやつ作り、お蕎麦バイキング）の実施を2回行っている。買い物外出の中止により毎週火曜日のセブンイレブンの訪問販売を楽しみにしていた方もいたが、外部のため、一時期中止となっている。その間は利用者からは買いたいものも買えないなどの意見が聞かれていた。

	行事	追加者	計		行事	追加者	計
4/10	郷土料理	10	26	11月	レク大会、郷土料理、誕生会は中止		
4/14	レク大会	7	21	11/16	昼食の献立として郷土料理を提供		
4/20	伯龍の講座	中止		11/17	昼食の献立として郷土料理を提供		
4/21	花見ドライブ	5	19	11/18	昼食の献立として郷土料理を提供		
4/28	誕生会	10	26	11/27	お祝い弁当、誕生日ケーキ提供のみ実施		
5/7	レク大会	7	20	12月	レク大会、郷土料理、誕生会は中止		

5/12	手作りおやつの日	5	19	12/14	昼食の献立として郷土料理を提供		
5/19	郷土料理	4	22	12/15	昼食の献立として郷土料理を提供		
5/26	誕生会	7	26	12/16	昼食の献立として郷土料理を提供		
6/9	運動会	5	26	12/11	お祝い弁当、誕生日ケーキ提供のみ実施		
6/17	郷土料理	13	30	12/24	忘年会中止のため外注定食提供		
6/22	誕生会	12	28	12/25	忘年会中止のため外注定食提供		
6/30	お蕎麦バイキング	5	23	12/26	忘年会中止のため外注定食提供		
7/7	流しそうめんの日	4	22	1/5	新年会	10	26
7/10	レク大会	6	22	1/22	郷土料理	10	29
7/14	バーベキュー	8	26	1/25	レク大会	8	26
7/21	郷土料理	9	25	1/28	誕生会	12	22
7/22	伯龍の講座	6	18	1/29	伯龍の講座	0	16
7/27	誕生会	13	33	2/2	節分	6	26
8/3	買い物外出	2	22	2/9	誕生会	11	29
8/4	買い物外出	1	18	2/12	郷土料理	7	26
8/5	買い物外出	1	19	2/22	レク大会	12	33
8/6	買い物外出	2	14	2/24	伯龍の講座	0	16
8/7	買い物外出	2	21	2/3	ひな祭り	9	26
8/13	お盆弁当の日	0	7	3/12	レク大会	7	2
8/19	レク大会	8	24	3/20	郷土料理	9	27
8/21	郷土料理	10	24	3/24	誕生会	12	29
8/25	伯龍の講座	2	15	3/31	伯龍の講座	2	18
8/27	誕生会	16	27				
9/1	嶽キミ外出	2	16				
9/2	嶽キミ外出	0	15				
9/3	嶽キミ外出	0	11				
9/4	嶽キミ外出	2	21				
9/11	レク大会	10	24				
9/16	敬老会	13	32				
9/23	誕生会	12	31				
9/25	郷土料理	11	29				
9/29	伯龍の講座	5	22				
10/1	おやつバイキング	11	21				
10/9	バーベキュー	10	29				

10/13	レク大会	7	28				
10/21	郷土料理	13	30				
10/27	伯龍の講座	中止					
10/29	城ヶ倉ドライブ	中止					



<お花見ドライブ>



<大運動会>



<手作りおやつの日>



<十五夜おやつバイキング>



<バーベキュー>



<新年会>

認知症予防活動

○レク活動

目標：日頃から少しでも身体を動かし・頭を使い、沢山笑って頂けるような時間を提供し身体機能の維持を図る。

結果：月間予定で定期的にレクリエーションを取り込んでおり予定通り行う事が出来ている。レクに参加したがない方もいるため、その際には無理に参加を促さず見学、他活動で対応している。毎月1回レク大会開催している。特に新しい競技ではなく要望のあったレク、普段行っているレク3種目行い実施している。得点、入賞者もばらつきなく参加されている方は、楽しんでいる姿が多く見られている。

*競技内容

スカットボール	スリッパ飛ばし	ボーリング	コロコロロードゲーム	何でも送り
風船バレー	ピンポン玉送り	缶積み	輪投げ	卓上カーリング
的当て	魚釣り	缶倒し		

<コロコロロードゲーム>

土会福

<缶積み>

<卓上カーリング>



○頭

目標：認知低下予防のため楽しみながら頭を使う機会を提供する。

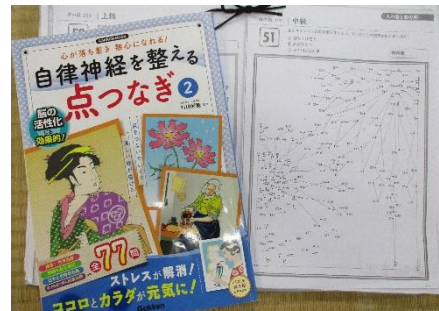
結果：月間予定で頭の体操を取り込んでおり行う事が出来ている。名前ビンゴ、言葉作りゲームでは書き物をしながら物事考え行う事で二つのことを同時に行う運動にもつながったと考えられる。またグループごとに分かれてグループで相談しながら行い、お互いコミュニケーションをはかりながら認知症予防に努めることができたと思われる。間違い探しでは、利用者同士での話し合いが頻回に行われるようになり、脳の活性化が図られたと考えられた。

*認知予防活動<脳トレ提供>

認知機能バランサー	言葉作りゲーム	ことわざ	パズル
漢字問題	○×ゲーム	昔を思い出そう	花札
間違い探し	歌を歌い体操	点つなぎ	カルタ
マーじゃん	計算問題	名前ビンゴ	



<間違い探し>



<点つなぎ>

○音楽の時間

目標：『喉の筋肉低下・嚥下低下・リラクゼーション効果』などさまざまな機能予防として、音楽を通じて楽しく歌って・身体を動かして頂く。

結果：音楽の日を行う際には馴染みのある曲を参加者全員で歌い、季節にあった曲、童謡、要望の合った曲を歌っている。参加者が歌いやすくなるように歌う前は遊びを取り入れたり、場が盛り上がった頃に曲を歌ったり、皆が見て歌えるよう大きい歌詞カードを使用したりと対応してきた。また歌のカード作成しカードを引いてもらいカードの単語から連想する歌を聞きだし歌っている。時間としては20分~30分行うことが出来ていた。皆で歌うことで大きな声で歌う方も見られていた。歌が苦手な方は見学、口ずさんだりされていた。目的である喉の筋肉低下・嚥下低下・リラクゼーション効果につながっていると思われるため今後も活動に取り入れていく。



○誕生会

目標：誕生日を皆でお祝いし楽しく過ごしてもらうことで今日は特別な日という気持ちを持っていただきたい。デイでお祝いすることで活力につなげていただく。

結果：誕生者の昼食は栄研に依頼し2種類(魚類と肉類)のうち1種類選択していただいている。また、主食も赤飯か白飯のどちらかを選択できるため、好評でしたので来年度も継続して行う必要があると感じた。誕生会では、誕生者紹介、家族会からのプレゼント贈呈、仲の良い利用者や職員からのお祝いの言葉を用意した。祝ってもらえることがうれしいと話す方が多数おり、毎月追加利用者数に繋がっている。仲の良い利用者や職員からお祝いの言葉をもらい、また、写真をツーショットで撮影しプレゼンしたが、これも喜んでくれる内容の一つであった。ケーキに関しては、季節限定で参加者が好みそうなケーキを考慮しラグノオに毎月注文している。珍しいケーキなども毎月提供する事ができよかった。月平均利用者数 26 名
月平均追加者数 8.75 名

月	利用人数	追加者数	月	利用人数	追加者数
4月	26	10	10月	17	0
5月	26	7	11月	22	0
6月	28	12	12月	22	0
7月	33	13	1月	22	12
8月	27	16	2月	29	11
9月	31	12	3月	29	12



○創作活動

目標1：作業を通し指先を使うことで脳に刺激を与え、認識の向上をはかれるよう

に支援する。

結果：木目込みやパウダーアート等の高度な作業の他、ちぎり絵等の作業を提供している。コロナウイルス感染症の影響により、弘前市また相馬地区の福祉展中止となっている。外部来苑者からも高い評価を得ることもあり、時折製作者へ話しかけちぎり絵の感想を紙に残している。またそれにより製作者の自信につながっている。それらの作品は正面玄関に展示している。

目標 2: 四季折々に見合った絵柄を添付する事で季節を感じ取っていただけるよう援助する。

結果：季節やイベントにあった塗り絵を提供している。利用者も塗り絵の内容を理解し、季節を感じている様子であり、他利用者との会話につながることも少なくなかった。

	活動内容	貼絵、ちぎり絵		
4月	鯉のぼり作り	八甲田丸		
5月	天井飾り作り			
6月	金魚ねふた作り	ねふたなぬかび		
7月	天井飾り作り			
8月	福祉展・文化祭創作			
9月	福祉展・文化祭創作	城ヶ倉大橋		
10月	天井飾り作り			
11月	天井飾り作り			
12月	干支作り（さくらほりきり手芸）	冬の十和田湖		
1月	鬼の面作り（工作）			
2月	雛人形作り（手芸）			
3月	天井飾り作り			



< ねぶたちぎり絵 >



< 正面玄関 >



< ひな人形作り >

○生きがい（自立）デイサービス

目標：自立、要支援者も利用者を集い、毎月 1 回の活動を行い、温泉に出かけることで社会性の維持や他者との交流の機会とし、日常生活に生きがいを感じることを目的とした活動を行う。

結果：新型コロナウイルス感染症の影響により今年度は開催せず。参加者に対し中止のお知らせを配布している。

○配食サービス

目標：栄養バランスを第一に考えた食事を提供することで、健康の維持・向上だけでなく、在宅生活での質の確保を図るよう援助します。また配食届け時、安否確認を行うことで家族の方の精神的な負担の軽減、孤立死未然防止対策として「安心安全見守り安心ネットワーク」を活用することで、安心して安全な生活環境で自立した在宅生活が営めるよう支援します。

結果：配食利用者の中には療養中の利用者、買物や自炊などが困難な 1 人暮らしの高齢者、利用者の中には季節を問わず一年を通し利用されている方、必要に応じ随時利用される方など配食の重要性が感じられる。献立は偏りのない栄養ある食事の提供をモットーに、糖尿病やカロリー制限のある方、個々の食事形態に合わせた調理法などを提供しており、利用継続へと繋がっている。今年度、ご家族様からの依頼により 5 名、ご本人様からの依頼により 3 名新規利用となっている。

安否確認については、異変が感じられたときは速やかに対応出来るようマニュアルも整備し、配食届け時にはコミュニケーションをとりながら体調不良やその日の状態の確認をしている。また年 1 回「安心安全見守り安心ネットワーク」研修会が開催されていますが、今年度はコロナウイルス感染予防対策の観点から参加を中止させていただきました。今年度は在宅での異変等で弘前市へ報告する事例は無かったが、継続して対応していく。

○デイサービス利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均
登録者数	76	78	78	80	82	84	89	88	79	77	78	80	969	80.75
1. 登録者 増減	3	2	0	2	2	2	5	1	0	2	1	2	22	1.84
ア. 新規 登録者	3	2	0	3	2	2	4	0	0	1	3	3	23	1.92
イ. 登録 廃止者	0	0	0	0	0	0	0	0	1	3	0	2	6	0.5
(うち死 亡者)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.09
実利用者 数	48	49	54	52	54	55	57	54	56	54	50	54	637	53.09
2. 利用者 増減	3	1	5	2	2	2	2	3	2	2	4	4	32	2.67
ア. 新規 登録者	3	2	0	3	2	2	4	0	0	1	3	3	23	1.92
イ. 利用 再開者	3	1	5	0	0	0	1	0	0	0	0	2	12	1
ウ. 利用 休止者	0	4	1	2	0	1	1	4	2	4	2	6	27	2.25
稼働日数	26	26	26	27	26	26	27	25	27	25	24	27	312	26
延べ利用 者数	387	402	440	452	425	450	450	418	445	420	400	447	5136	428
1日平均 利用者数	14.89	15.47	16.93	16.75	16.35	17.31	16.67	16.72	16.49	16.80	16.67	16.56	16.47	1.38
稼働率	51.33	53.32	58.36	57.73	56.37	59.68	57.47	57.66	56.83	57.93	57.47	57.09	56.76	4.74

□長慶苑ケアプランセンター

部署報告

目標 1：安定した利用者数の確保に努める。介護プラン平均利用者数を 60 名にする。また、予防プランを最大 22 件まで受け入れる。

結果：月平均 60 名で目標の平均利用者数を達成している。予防プランは目標以上の人数を受け入れている。(表 1 参照)

(表 1)	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	合計	平均
介護給付	56	57	61	57	54	58	63	63	63	62	64	63	720	60
予防給付	23	25	25	25	26	26	26	24	24	23	21	22	290	24

(表 2)	廃止者数		新規利用者
	死亡	施設入所	介護給付
R1 年度	10	7	14
R2 年度	9	6	26

目標の平均利用者数を達成できたのは、一番大きな要因は、前年度に比べ約 2 倍新規利用者が増えたことと、予防から要介護になったのが 4 名と前年度に比べ半減しているが、死亡や施設入所がわずかながら少なかったのが、安定した利用者の確保につながったと思われる。

目標 2：一人暮らしや老世帯を対象にした地域のボランティア活動に貢献する。そのことで、地域の一人暮らしや老人世帯の実態把握に努める。

結果：年末、一人暮らし世帯の多い地区を重点的に回り、困りごとがあれば、年末年始関わらず、いつでも相談に来て欲しいと戸別訪問している。

目標 3：研修や勉強会に参加し、介護保険制度だけでなく、それ以外でも役に立つ知識を得ることで、利用者とその家族が在宅で生活する上で必要な助言ができるようにする。

結果：包括の地域ケア会議にも出席し、事例発表を行っている。弘前市ケアマネジャー研修会には、全員参加はしなくても、必ず参加するようにした。

OJT に関しては、勉強会という形ではないが、担当者会議などで集まった後には、随時その都度問題は解決できるように話し合いを行っている。

OfJT は、コロナウイルス感染症の影響で興味がある研修など開催されなかったり、開催されても感染リスクを考慮して参加できなかった。

目標 4：介護する家族の交流会を開催（年 1～2 回）することで、介護者同士の交流を深めてもらうことと、介護のストレスを溜め込まない支援を行う。また、介護保険制度の理解を深めてもらうことと、人が集まる機会を作ることで、長慶苑を利用していない方の情報収集する場とする。

結果：コロナウィルス流行の影響もあり、開催していない。

□長慶苑在宅介護支援センター

部署報告

目標1:担当地域である旧相馬村内の65歳以上の世帯を月100件を目標に訪問し、日常生活状況を聞き取りし弘前市南部地域包括支援センターへ文書で報告する。

結果：昨年度は年間698人の実態把握ができた(内 独居生活者は66人)。その旨、毎月文書にて南部包括支援センターへ報告している。

日常生活では自立しており自家用車(大半は軽トラック)を運転して通院や買い物に出かけている状況であった。

日常生活で自立できていることが多いため、介護保険サービス利用に関しては消極的である。高齢者の集まりに積極的に参加し他者と交流を図っている方がいる一方で、交流頻度が少ない高齢者もいる。地域活動への参加を働きかけながらADL低下防止につなげていきたい。今後も引き続き困り事や介護相談への対応を行ない、安心して自宅で過ごすことができるよう支援していきます。

○権利擁護事業

目標：旧相馬村在住の高齢者が権利侵害(身体、金銭、介護等の虐待)をうけず自宅での生活を続けることができるよう支援する。

結果：昨年度弘前市南部地域包括支援センター圏域内の介護支援専門員連絡会(4回)、ブランチ会議(4回)、ケア個別会議(1回(当事業所で一回検討事例提供している))、に出席(新型コロナウイルス感染症拡大防止のため各居宅支援事業所圏域での開催となり出席回数が減った)。それぞれの会議には、医師、薬剤師、看護師、社会福祉士、精神保健福祉士、市担当者、地区民生委員、地区会長等が出席。専門職からの助言をもらい支援内容についての方向性を決めることができた。また、民生委員や地区会長など旧相馬村の方も出席しており、包括支援センターや在宅介護支援センター、居宅介護支援事業所の活動内容についての理解を深めてもらう機会にもなっている。

○地域貢献活動

目標：弘前市の高齢者施策、地域資源の情報、特殊詐欺について地区民生委員を通して高齢者や家族へ情報提供する。

結果：12月から毎月 民生委員定例会に出席している。

月	報告内容
12月	見守り対象となる高齢者について説明
1月	民生委員が地域の高齢者から相談を受けた際の連携先(行政機関、医療機関、福

	祉制度窓口等々)についてマップを持参し説明
2月	当法人のパンフレットを配り再度理解してもらえるように説明
3月	支援が必要な高齢者の掘り起こしのため、連携して支援した事例を報告

※活動内容を理解してもらうことで、支援が必要な高齢者の早期発見、速やかな福祉施策利用に繋げていきたい。

○介護予防ケアマネジメント業務

目標：弘前市内の地域包括支援センターと連携し介護予防事業等のサービス利用調整、サービス計画書の作成を行ない要介護状態防止を図る。

結果：弘前市市内の地域包括支援センターと連携し介護予防事業等のサービス利用調整、サービス計画書を作成し身体機能を維持し、要介護状態への悪化を防ぐ。

介護予防対象者：（単位：名）

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
人数	23	25	25	25	26	26	25	25	24	23	21	22	24.2
特記	新規 2名 含	新規 2名 含	新規 1名 含	新規 1名 含	新規 1名 含	新規 1名 含		新規 1名 含				新規 1名 含	

新規の内訳：要介護→要支援 2名
 新規申請 4名
 利用再開 4名

介護相談件数：単位 件

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
件数	1	7	2	2	4	2	4	0	7	2	1	4	3.0

相談連絡する方はほぼ家族であり、内容としては介護保険の申請方法、介護保険サービス利用の手順についてが大半を占めていた。電話での相談が多く、介護保険申請希望の際は居宅介護支援事業所へ引継ぎしている。今後も本人、家族が困っていること、悩んでいることに寄り添いながら支援していきます。

相談 件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計

31年度	3	1	0	3	1	4	2	0	3	0	0	3	20
------	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	----

□グループホームりんご座

部署報告

目標 1：簡単に行えるレクリエーションで体を動かし、脳への働きかけを行い、脳を活性化し認知症の予防につなげる。認知症の方の気持ちを前向きにさせて QOL(生活の質)を高め、ADL(日常生活動作)の機能向上を図る

結果：レクリエーションとして旗上げ、絵合わせ、津軽弁クイズ、玉色分け、パズル、計算問題、ルービックキューブ、手指の体操、健康体操など行い、認知機能への働きかけに取り組んできた。その他としてカラオケ、映画鑑賞、行事での書初め、年賀状作り、七夕の短冊など行い負担なく、楽しんで行え、残存機能の維持に繋がったのではないかと思います。

※活動内容回数と長谷川式スケール (HDS-R) 結果

	個別	身体機能	認知機能	HDS-R4 月	HDS-R7 月	HDS-R12 月
I・F (女性)	37	3	10	19 点	15 点	15 点
I・R (女性)	9	11	29	9 点	-	-
K・M (女性)	21	18	51	11 点	23 点	18 点
S・T (女性)	34	12	55	-	4 点	4 点
S・I (女性)	31	20	54	1 点	6 点	1 点
N・S (男性)	2	3	11	0 点	-	-
N・S (女性)	0	1	2	0 点	-	-
F・M (男性)	45	22	87	4 点	8 点	7 点
F・T (女性)	76	14	51	21 点	19 点	20 点
M・K (女性)	9	1	5	-	-	-
M・S (女性)	61	12	68	-	7 点	4 点
M・T (男性)	24	9	30	11 点	6 点	6 点
M・T (女性)	9	1	2	-	-	-

I・R (女性)：R2.11.30 退居 K・M (女性)：R3.2.3 退居 S・T (女性)：R3.6.19 入居

S・I (女性)：R3.3.20 退居 N・S (男性)：R2.6.18 退居 N・S (女性)：R2.5.4 退居

M・K (女性)：R2.12.15 入居

M・S：R2.5.15 入居 M・T (女性)：3.3.8 入居



目標 2：個別の調査を行うことで、利用者様の生活歴や人物像を深く知る。今後の関わりを見直し個々にあったケアへ繋げていく。

結果：結果：2.3 か月 1 人行う予定であったが、コロナ禍で活動の自粛あり行うことはできな

った。

目標3：職員の知識、介護技術の向上を目指し、職員の育成やリスク対応に関して再認識する。

結果：毎月のりんご座会議で利用者様の状況、個々の認知状態等を話し合いケアの統一性の確認、奇数月には勉強会を行っている。5月不適切なケアについて。利用者様との関わりについて話し合い個々のケアの見直しに取り組んできた。

○年間行事

月日	行事	参加人数	月日	行事	参加人数
4/1	開苑記念24周年式典	8名	9/16	敬老会	9名
4/20	桜祭りドライブ	9名	10/20	目屋ダムドライブ	中止
5/19	嶽方面ドライブ	中止	10/30	ハロウィーン	9名
6/12	昼食バイキング	8名	11/17	レク大会	9名
7/1	りんご座16周年記念	8名	12/25	クリスマス会	9名
8/26	鱒ヶ沢ドライブ	中止	12/29	忘年会	9名
8/26	お食事会	9名	1/7	新年会	9名
8/27	バーベキュー	9名	2/3	節分	7名
9/14	H・Tさん100歳誕生会		3/3	ひなまつり	5名



○郷土料理

目標：全員参加し楽しみながらできる青森県産の郷土料理作りを行う。

結果：利用者様には職員と一緒に手伝いをして頂き、夕食時に提供している。手伝いでは食材の下準備、切り分け作業をお願いしている。利用者様に困難な様子が見られる場合は、能力に合わせ声かけや手本を見せるなど工夫をしている。夕食時に提供すると利用者様によっては知らない料理もあり、どこの地域の料理であるか伝えると、地域の話にもなり会話も弾み美味しそうに召し上がっている。なすのしそ巻き、いなり寿司、けの汁は利用者様に馴染みもあり特に喜ばれていた。調理を通して利用者様が自宅でどのような料理を作ったかなど、昔を思い出してもらいながら会話を引き出すこともできた。

月	郷土料理	月	郷土料理
4月	ウドの芽天ぷら	10月	味噌カレー牛乳ラーメン
5月	ぜんまいのくるみ和え	11月	黒石つゆ焼きそば
6月	津軽の赤いなり寿司	1月	一町田のセリ入り納豆汁
7月	マグロの漬け丼	2月	けの汁

8月	なすのしそ炒め	3月	津軽なべ焼きうどん
9月	鮭のちゃんちゃん焼き		



○レクリエーション

目標：体全体や手先を動かすことで機能維持につなげ、また、ゲームの理解し楽しむことで脳の活性化を促す。

結果：月ごとに行うものを決め週1回行っている。使用する道具等は、職員と利用者と作り事前に用意することで、レクリエーションの時間にはゲームを楽しんで行っていた。

スリッパ飛ばしは足を大きく振り上げスリッパを飛ばしていた。魚釣りゲーム、ボーリング、ダーツでは、道具をどう使うか等考え、上手に使い参加されており楽しまれていた。指先を動かすために缶詰みや紙相撲行ったが、失敗を避けようとする様子や遠慮する様子見られていた。体を動かすゲームは大変楽しまれていた。

その他、旗上げ、絵合わせ、津軽弁クイズ、玉色分け、パズル、計算問題、ルービックキューブ、手指の体操、健康体操など行い、認知機能への働きかけに取り組んでいる。

4月	魚釣りゲーム	7月	スリッパ飛ばし	10月	卓球	1月	ダーツ
5月	花輪送り	8月	玉入れ	11月	風船テニス	2月	紙相撲
6月	缶詰み	9月	輪投げ	12月	的当て	3月	ボーリング



○おやつ作り

目標：季節の食材を使用し季節感を味わい「作る、食べる」を楽しめるおやつを提供。

結果：季節感を出した食材を使用行っていた。作る楽しさを感じて頂けるよう、声をかけると快く引き受け作る楽しさ、食べる喜びを感じて頂けて毎月一回行えて良かった。

月日	内容	人数
----	----	----

4/29	あんかけ三色白玉団子	7名
5/21	パンケーキ	9名
6/14	フルーツ水まんじゅう	7名
7/19	フルーツクリーかき氷	8名
8/21	もっちりチーズ風味のかぼちゃもち	8名
9/11	お芋プリン	7名
10/15	クレープミルフィーユ	9名
11/22	杏仁豆腐風プリン	5名
12/28	柚子のパウンドケーキ	7名
1/31	大阪風たこ焼き	7名
2/11	フルーツロールサンドイッチ	6名



○美化/写真

目標：毎月の行事の様子や、季節感があふれるような掲示物、飾りつけを工夫し快適に過ごし居心地が良い空間作りを提供する。

結果：季節に合った飾りや写真を玄関前、ホール内に飾っている。利用者様から季節飾りを見て現在の季節を感じてもらうことができ、写真を見て「自分が写っている」と笑って話しており、気持ちを癒し、会話にもつながり楽しんでいた。

○運営推進会議

目標：地域に情報提供し地域の理解・協力を求め、情報交換や情報共有できる運営推進会議を定期的（年6回）に開催する。

結果：5月、7月、9月、1月、3月と開催している。2020年5.11月、新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止となっている。

5/20	0名	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
7/17	10名	入居者状況、詐欺被害情報交換
9/16	9名	入居者状況、コロナ禍での行事等について
11/18	0名	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため中止
1/20	9名	入居者状況、在宅移動販売再開、土砂災害訓練について

3/18	10名	入居者状況、職員入れ替え紹介引継ぎ
------	-----	-------------------

○利用状況

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
入居者数		9	10	10	9	9	9	9	9	9	9	9	9
ショートステイ数		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0
入退院者数		0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	1	0
退居者数		0	1	1	0	0	0	0	1	0	0	1	1
空床延べ数		10	6	30	31	4	0	0	0	14	0	48	18
総延べ数		260	273	240	248	275	270	279	270	265	279	231	261
死亡者		0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
介 護 度 別	要支援 2												
	要介護 1	0	0	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1
	要介護 2	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	3	3
	要介護 3	6	5	6	6	6	6	6	6	4	4	5	4
	要介護 4	2	3	1	0	0	0	0	0	2	2	1	2
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	平均介護度	3.11	3.44	3	2.55	2.55	2.55	2.55	2.55	2.55	2.77	2.77	2.45
実 人 数	要支援 2												
	要介護 1	0	0	12	31	31	30	31	30	31	31	31	31
	要介護 2	20	52	60	62	62	60	62	60	62	62	80	86
	要介護 3	180	155	150	155	182	180	186	180	124	124	92	113
	要介護 4	60	66	18	0	0	0	0	0	48	62	28	31
	要介護 5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	月合計	260	273	240	248	279	270	279	270	265	279	231	261

1. 入退苑調べ

項目	入苑者数			退苑者数			R3. 3. 31現在苑者		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
市町村									
弘前市	0	6	6	1	3	4	2	6	8
合計	0	6	6	1	3	4	2	6	8

2. 介護度別利用状況

介護度	男	女	合計
要介護1	0	1	1
要介護2	0	3	3
要介護3	2	1	3
要介護4	0	1	1
要介護5	0	0	0
計	0	0	8
平均介護度	3.0	3.5	3.25

3. 年齢別利用状況

年齢	男	女	合計
65歳～69歳	0	0	0
70歳～74歳	0	0	0
75歳～79歳	0	0	0
80歳～84歳	0	0	0
85歳～89歳	1	2	3
90歳～94歳	1	3	4
95～99歳	0	0	0
100歳以上	0	1	1
合計	2	6	8
最高年齢	94歳	100歳	100歳
最低年齢	87歳	86歳	86歳

4. 在苑期間状況 (R3. 3. 31現在苑者)

在苑期間	男	女	合計
1年未満	0	5	5
1～3年未満	1	0	1
3～5年未満	1	0	1
5～10年以上	0	1	1
合計	2	6	8

□ショートステイ長慶の里（単独型）

部署報告

目標1：脳の活性と体力の維持

結果1：レク活動を行うことで脳の活性化図り、この状態で神経衰弱（絵合わせ6枚3組）を週3回継続して行い、何秒で合わせ終わることができるかを記録している。対象者10名行ってきたが、4名退所、7月から1名追加で行ってきた。体調によっては極端に覚える日と覚えられない日がある利用者様もいた。行う際は絵の場所をきちんと覚え行っており、絵合わせ計測タイムも初めに比べると少しずつ短縮され皆さん差もなくなっている。毎回継続して行ってきたことで習慣化されている。また年2回長谷川式スケールでの評価している。+1点1名、+5点1名、-1点1名、-3点1名、-4点1名、-10点1名（認識面が急低下し質問内容を認識できずにいた）となっている。3名の方は点数変わらず経過されている。年2回行うことで認識レベルが維持できているか判断ができると思われる。

(秒)

名前	4月 平均	5月 平均	6月 平均	7月 平均	8月 平均	9月 平均	10月 平均	11月 平均	12月 平均	1月 平均	2月 平均	3月 平均	平均
I・R	36	82	46	41	34	33	30	29	38	29	退所		39.8
O・H	65	85	60	72	69	42	69	退所					66
O・E	28	36	28	29	25	22	25	30	27	29	28	31	28.1
O・K	37	63	50	49	49	47	39	67	45	87	79	53	55.4
S・k	39	57	46	50	47	46	34	40	36	36	39	41	42.5
S・T	37	48	45	41	35	40	25	27	29	18	24	31	33.3
N・H	40	40	34	43	28	28	22	20	22	18	24	22	28.4
N・K				17	16	13	11	11	11	14	12	10	12.7
N・H	23	36	31	30	24	18	17	21	18	25	21	19	23.5
M・S	21	20	21	退所									20.3
M・T	49	退居											49

名前	HDS-R		
I・R	5月 10点	11月 11点	+1
O・H	7月 1点	未実施	
O・E	5月 18点	12月 23点	+5
O・K	4月 11点	10月 1点	-10
S・k	8月 19点	2月 15点	-4
S・T	8月 11点	2月 11点	±0
N・H	5月 12点	8月 11点	-1
N・K	7月 26点	1月 23点	-3
N・H	7月 19点	1月 19点	±0

M・S	5月 17点	1月 19点	±0
M・T	未実施	未実施	



結果2：毎日、健康体操、週3回のレク活動や自走散歩を行い、体力維持に努めている。4月から10月までは苑外散歩とし悪天候時は運動レク活動を提供している。苑外散歩は天候、気温に左右されるため月数回のみとなっている。レク活動時は楽しまれ参加され、11月から3月の冬季間は足を使ったレク活動を中心に提供している。車いす自走は体調不良以外、行えており、3か月に一度、一定距離（里内廊下片道距離）の自走タイムを計測し体力維持できているか評価している。4名の方は自走タイム初回に比べタイムが縮まっている。1名の方は12月までは維持できていたが3月に入り体調不良等もあり遅くなっている。体調不良等もあったが、いずれの方も車椅子自操はしているため体力維持はできていると思われる。

() 距離

里内廊下片道距離、車椅子自走タイム					
名前	6月	9月	12月	3月	年間
O・H(50M)	2分51秒	3分19秒(+32秒)	—	—	—
O・E(50M)	1分39秒	1分37秒(-2秒)	1分38秒(+1秒)	1分39秒(+1秒)	±0秒
O・K(50M)	3分26秒	3分58秒(+32秒)	3分34秒(-24秒)	4分2秒(+28秒)	+36秒
S・K(10M)	53秒	44秒(-9秒)	1分6秒(+22秒)	40秒(-26秒)	-13秒
S・T(50M)	1分3秒	47秒(-16秒)	51秒(+4秒)	47秒(-4秒)	-16秒
N・H(50M)	1分46秒	1分59秒(+13秒)	1分36秒(-23秒)	1分28秒(-12秒)	-18秒
N・K(50M)	3分9秒	2分15秒(-54秒)	3分14秒(+1分1秒)	3分0秒(-14秒)	-9秒
N・H(10M)	37秒	58秒(+21秒)	54秒(-4秒)	52秒(-2秒)	+15秒
M・S(50M)	2分35秒	—	—	—	—
M・Y(50M)	5分22秒	2分35秒(-2分47秒)	—	—	—



目標 2: 職員の知識・介護技術の向上を目指し危険予測の出来る職員、リスク対応、倫理に関して再認識して行動できるようにする。

結果：偶数月に実技勉強会を実施し、事故対策委員会で統一した介助方法の指導、介護技術の見直しを行い、統一したケアの関わりを実施している。また、個々に不安な点について技術指導をおこなっている。奇数月に各種勉強会を行い、普段から行っている業務の見直しや関わり方を再勉強している。また、毎月ある里会議でヒヤリハット報告、事故報告を行いながら危険予測について話し合い、一早いリスク対応で事故を防ぐ重要性を説明している。勉強会を重ねることで意識付けができていていると思われる。

< 部署研修会 >

5月	介護の基本	11月	身体拘束・スピーチロック
7月	救急対応	1月	感染症・感染予防対策
9月	虐待	3月	認知症

< 避難訓練 >

4月	日中状況	12月	日中想定
6月	夜間状況	2月	夜間想定
8月	日中状況		

目標 3： 毎月の平均利用者 20 名を確保し年間稼働率 95%を確保する。

結果：利用後は利用状況をご家族様と居宅事業所へお渡しし、情報提供している。その他、里通信を年4回発行し、ショートステイ入所中の活動の様子も写真つきでお知らせし、短期入所利用中の様子を把握していただけるように努めた。それにより、短期利用の方も定期で利用して下さった。しかしながら、職員不足により利用者3：職員1体制を維持するために必要な職員数を確保できず、利用者の入居制限をせざるを得ない状況が続き、結果年間稼働率92.2%と大幅に目標を下回っている。

季節行事・外出行事・買物外出

○外出行事・買物外出

目標：車椅子生活で外出しにくい方でもどこかへ出かけたというニーズがあるため買い物やドライブを企画、また季節に合った行事を催し、季節の移ろいを感じていただけるよう働きかけていく。ドライブ先は行きたいところを月ごとに聞き取りを行い決めていく。

結果：2回ドライブ・買い物へ外出の計画であったが、COVID-19の影響で、感染予防のため買い物外出は中止している。ドライブは人ごみを避けた場所を選び実施している。

結果：ドライブのみではあったが、外出することで「楽しかった」と気分転換を図ることができ

た。

○外出行事・買い物外出

	実施内容	参加数
4月	弘前公園外周桜鑑賞ドライブ	4名
6月	目屋ダムドライブ	3名
7月	大石神社ドライブ	3名
8月	弥生いこいの広場	3名
9月	嶽、岩木神社ドライブ	2名
10月	石川方面ドライブ	1名



(7月大石神社ドライブ)



(8月弥生いこいの広場)

○季節行事

	実施内容		実施内容
4月	開苑記念 4月生まれ誕生会	10月	10月生まれ誕生会 ハロウィン
5月	長慶の里6周年記念 母の日	11月	レク大会 ふれあいの集い 11月生まれ誕生会
6月	父の日 6月生まれ誕生会	12月	クリスマス・忘年会 12月生まれ誕生会
7月	7月誕生 BBQ	1月	新年会 1月生まれ誕生会
8月	縁日 8月生まれ誕生会	2月	節分 バレンタイン・2月生まれ誕生会
9月	敬老会 9月生まれ誕生会	3月	ひな祭り 3月生まれ誕生会

レクリエーション

目標：毎週日曜日レクリエーション実施。

結果：レクリエーションを週3回実施している。上半身や下半身を動かすレクリエーションを提供し全身を動かし笑顔も見られ、リフレッシュする機会をもうけることができ、笑顔が見られている。天気の良い日は外で日光浴を楽しんでいる。

レクリエーションの内容

4月	ボール渡し、風船バレー、苑外散歩
----	------------------

5月	的あて、紐通し、ビー玉渡し、芯通し
6月	風船バレー、玉入れ、芯通し、日光浴
7月	紐通し、輪投げ、釣りゲーム、缶倒し
8月	輪投げ、玉入れ、釣りゲーム、風船バレー
9月	釣りゲーム、玉入れ、芯通し、輪投げ、日光浴、風船バレー
10月	玉渡し、輪投げ、魚釣り、缶つま、芯通し
11月	玉入れ、ボール渡し、釣りゲーム、缶つま
12月	玉入れ、輪投げ、缶転がし
1月	羽根つき、缶倒し、新聞手繰りよせ、スリッパ飛ばし
2月	スリッパ飛ばし、缶蹴り、釣りゲーム、缶つま、新聞手繰り寄せ
3月	新聞手繰り寄せ、玉入れ、キックボーリング、輪投げ、缶つま、釣りゲーム



クラブ

目標1：月ごとに作品を制作し展示する。

結果：月ごとに季節に合った作品作りを行っている。積極的に作品作りに参加された利用者もおり良かった。なかには「できない」「わからない」「目が悪い」と、一部見学のみ利用者もいるが、下準備が出来次第、壁に貼り付け完成させると、参加した利用者からは「あれ～いいじゃあ。明るくてパツとしていいなあ。」と達成感に満足されていた。参加利用者にとっては、指先を動かすことや頭を働かせることで刺激になり、飽きがこないよう目先を変えたことにより認知症進行予防につなげることができたと思う。

4月	5月の景色(鯉のぼり等)参加者 14名	10月	11月の景色(紅葉等) 〃 15名
5月	6月の景色(紫陽花等) 〃 13名	11月	12月の景色(クリスマス等) 〃 19名
6月	7月の景色(海の景色等) 〃 14名	12月	1月の景色(お正月等) 〃 20名
7月	8月の景色(ひまわり等) 〃 13名	1月	2月の景色(節分等) 〃 11名
8月	9月の景色(お月見等) 〃 16名	2月	3月の景色(ひな祭り等) 〃 14名
9月	10月の景色(リンゴ畑等) 〃 12名	3月	4月の景色(さくら等) 〃 15名 計 176名





目標 2：昔の懐かしい映像を見て昔を思いだし会話をすることで、記憶を引き出し認知症の進行防止につなげる。

結果：昭和初期、中期に使われた、くらしの中の道具や当時の暮らし、昔の日本各地のようすなどの映像を見ながら思い出し回想法を行っている。利用者さんからは「こういう道具昔使った。

この場所に若い時に行った。」等当時を思い出し懐かしむ様子見られている。

その他に、青森のりんご農家の特集、様々なドキュメンタリー、日本各地の風土を特集した番組があれば録画視聴している。思わぬところで利用者さんの記憶や思い出が引き出され、興味深く映像を視聴しているようすが見られたため、認知症防止のためにも今後も回想法を行っていく。

口腔ケア

目標 1：口腔内の清潔を保つことで口腔トラブル・誤嚥性肺炎を予防する。

結果：毎食後の口腔ケアを実施し、口腔トラブルや誤嚥性肺炎なく経過することができている。

排泄ケア

目標 1：トイレでの排泄維持とオムツ・パットのコスト削減。

結果：毎月、排泄表の見直しを行い、利用者に合わせたオムツ、パットを使用している。また吸収量の多いパットを使用する回数を減らし、より実情に合わせたパットへ切り替えたことでコストを削減することができている。

日中は定時でトイレ誘導を行い、トイレにて排泄することを維持でき、更に排泄意を確認する声かけすることで、自ら排泄を訴える利用者も増えており、パットの汚染も減ってきている。夜間帯でも排泄を訴える利用者が増えてきている。

パット代は利用者に変動あり、7万円を超える月もあるが、月平均で5万円代まで抑えることができている。

オムツ利用者数

紙オムツ	3～4人	リハパン	14人	布パンツ	4人
------	------	------	-----	------	----

オムツのコスト(税抜き、大まかな金額)

4月	77,466	5月	54,192	6月	48,564
7月	75,750	8月	52,662	9月	49,680
10月	71,928	11月	53,682	12月	55,254
1月	44,574	2月	43,314	3月	43,974

○ ショートステイ長慶の里 利用者状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	平均	
延べ入所者数	589	624	552	559	535	527	624	628	623	628	576	622	7087	590.58	
入院者	0	0	0	2	0	2	0	0	0	0	1	1	6	0.50	
入院空床延べ人数	41	27	78	92	116	103	27	2	28	23	12	29	578	48.17	
登録廃止者	0	2	1	0	0	0	1	2	0	0	0	0	6	0.50	
うち死亡者	0	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	4	0.33	
月平均	19.6	20.1	18.4	18	17.3	17.6	20.1	20.9	20.1	20.3	20.6	20.1	233.1	19.42	
介護度別 実人数	経過的要介護	0	1	1	0	2	1	0	0	0	0	0	5	0.42	
	介護度1	1	0	1	2	0	1	1	2	2	4	4	20	1.67	
	介護度2	5	6	6	4	5	5	2	3	4	5	5	55	4.58	
	介護度3	4	4	4	4	3	3	6	5	4	4	3	47	3.92	
	介護度4	10	10	10	10	10	12	12	11	10	10	10	125	10.42	
	介護度5	3	3	3	2	1	1	2	2	1	1	1	21	1.75	
	介護度平均	3.24	3.61	3.31	3.33	3.15	3.36	3.36	3.1	2.8	2.79	2.79	3.27	38.11	3.18
介護度別延べ人数	経過的要介護	0	3	1	0	35	14	0	0	0	0	0	53	4.42	
	介護度1	6	0	7	30	0	3	31	55	62	62	71	423	35.25	
	介護度2	90	111	90	60	63	77	37	44	96	101	95	968	80.67	
	介護度3	120	124	120	101	98	90	169	149	124	124	112	93	1424	118.67
	介護度4	300	304	272	310	308	313	325	330	310	310	270	298	3650	304.17
	介護度5	73	82	62	58	31	30	62	50	31	31	28	31	569	47.42
	月合計	589	624	552	559	535	527	624	628	623	628	576	622	7087	590.58
	稼働率(%)	93.5	95.9	87.6	85.9	82.2	83.7	95.9	99.7	95.7	96.5	94.6	95.5	1106.5	92.21

□総務

部署報告

目標1：経費削減

結果：コロナウイルス流行直後から、プラスチックグローブ・ハンドタオル・サージカルマスク、医療用備品等が高騰、商品も入荷未定の状況となった。しかし、長年の取引業者より、わずかではあるが、コンスタントに納品してもらえた。

特に、プラスチックグローブは、コロナウイルスの流行前と比べると3倍以上の値上がりとなったが、業者から情報をもらいながら、3倍になる前に半年分をまとめ購入した。また、職員にも情報を伝え、節約に協力してもらい、業務内容によってグローブの使い分けをしてもらった。

少しでも削減できるように、ネットを活用し消耗品等を購入した。

目標2：ブログ、ホームページの管理、更新を行う

結果：ブログの更新は週1回程度は更新ができたが、ホームページの更新とソーシャルネットワークシステムの活用はできなかった。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
回数	4	5	7	6	7	4	4	7	4	6	5	2